

※「アートキャラバンくまもと」とは：熊本地震で被災された皆さんに音楽や演劇などのアートを届けるプロジェクトです。

清和文楽出張公演

けいせい あ わ なると じゅんれいうた だん
～ 傾城阿波の鳴門（巡礼歌の段）～



傾城阿波の鳴門について
伊達騒動（作中では阿波徳島の御家騒動）を
題材に、夕霧・伊左衛門の情話、阿波の十郎
兵衛・お弓夫婦の忠義を織り込んで脚色した
近松半二ら合作の浄瑠璃です。物語は十段あ
りましたが、現在は八段目である、この『巡
礼歌の段』だけが上演されています。

日時：平成30年2月17日（土）開場 18:00 開演 18:30

場所：植木文化ホール（植木文化センター内）

入場：無料 どなたでも（定員600名）

1月5日（金）9時から植木文化センター窓口で入場チケットを配付
します。定員になり次第、配布終了とさせていただきます。

問合せ先：植木公民館 ☎272-6909

※自然災害等で中止になる場合がございます。ご不明な点は、お問い合わせ下さい。



清和文楽のはじまり
清和文楽は、江戸時代嘉
永年間（1850年頃）
山都（旧清和村）を訪れ
た淡路の人形芝居の一座
から浄瑠璃好きな村人が
人形を買い求め、技術を
習ったのが始まりといわ
れます。
地域のお宮の農村舞台
で奉納芝居を上演した
り、各地の行事に招かれ
たりするなどして伝承し
てきました。
一時期衰退しますが、
昭和に入り復活し、昭和
三十五年に文楽人形の技
術保持者（2名）が熊本
県重要無形文化財に指定
されました。

